

■ 学部・教科（分掌）・作成者（中学部・国語・當銘由美）

🌱 この実践で目指したこと ☒ 人とつながる ☒ 社会とつながる ☒ 未来とつながる（SDGs）
ねらい（①隣にいる友達や生き物をたいせつにする気持ち ②小さなぼくにできることは何かなを考える）

📷 実践の様子



✨ 子どもたちの輝いた姿（できるようになったこと・見られた変化や気づき）

- ・ 貧しいために病気になっても病院に行けない人たち、お腹が空いても食べ物を手にできない人がいることを知った。SDGsの1と2だ！と発見し、「残さず食べよう」と発言があった。
- ・ 小さなツバメでも王子の代わりに宝石や金箔を運ぶことができることを知り、私の得意なこと（ダンスやゲーム）で楽しませ勇気づけてあげると、できることを一生懸命考えた。

👏 良かった点（どんな「つながり」が生まれた？）・改善したい点

- ・ 今はできないけれど「できるようになったら」や「大人になったら」と未来への希望を言えたこと
- ・ 改善点はSDGsを欲張ってしまったこと💧

🌍 関連するSDGs（あてはまるものに○）

- ①貧困 ②飢餓 ③健康 ④教育 ⑤ジェンダー ⑥水 ⑦エネルギー ⑧働きがい ⑨産業 ⑩不平等
⑪まちづくり ⑫つくる責任つかう責任 ⑬気候変動 ⑭海 ⑮陸 ⑯平和 ⑰パートナーシップ

■ 学部・教科（分掌）・作成者（ 小中高・算数、数学・朝倉、金城、山城 ）

🌱 この実践で目指したこと ☒ 人とつながる ☐ 社会とつながる ☒ 未来とつながる（SDGs）

ねらい（ 教師が身近な廃材を活用して教材を作成することで、児童生徒の学習意欲を高める教材開発の工夫を学ぶとともに、教材の活用方法を共有し、授業改善につなげることをねらいとした。また、資源を有効活用する視点を取り入れ、環境に配慮した教育活動への理解を深めることを目指した。 ）

📷 教材写真



✨ 教師の輝いた姿（できるようになったこと・見られた変化や気づき）

- ・身近な廃材に新しい価値を見出す過程で、教師の発想の柔軟性が高まった。
- ・子どもたちが『使いやすく・楽しく・学べる』という共通の想いで作成することができた。

👉 良かった点（どんな「つながり」が生まれた？）・改善したい点

- ・学部の垣根を越えた教材開発。
- ・それぞれの専門性と視点を掛け合わせて協働した。

🌍 関連する SDGs（あてはまるものに○）

- ① 貧困 ② 飢餓 ③ 健康 ④ 教育 ⑤ ジェンダー ⑥ 水 ⑦ エネルギー ⑧ 働きがい ⑨ 産業 ⑩ 不平等
- ⑪ まちづくり ⑫ つくる責任つかう責任 ⑬ 気候変動 ⑭ 海 ⑮ 陸 ⑯ 平和 ⑰ パートナリーシップ

■ 学部・教科（分掌）・作成者（ 中学部・理科・本原 香代子 ）

🌱 この実践で目指したこと ☒ 人とつながる ☒ 社会とつながる ☒ 未来とつながる（SDGs）

ねらい（ ヒマワリを育てるために、社会科で作ったたい肥を活用してヒマワリを育てる。友達と観察や成長の予想を共有し、成長の変化や種が次の命につながることに気づく。 ）

📷 実践の様子



🌟 子どもたちの輝いた姿（できるようになったこと・見られた変化や気づき）

よく見る：ヒマワリの成長を気にかけて毎日観察し、報告するようになった。

順番にする：成長を観察することで植物の成長過程が分かり、成長カードを並べることができるようになった。

予想する・理由を伝える：絵カードの絵を手がかりに「次はどうなる？」と、植物のこれからを予想することができるようになった。また、「花の中央の色が違うから」「枯れているから」など、自分なりの理由を伝えることができるようになった。

👉 良かった点（どんな「つながり」が生まれた？）・改善したい点

・社会科で作ったたい肥を活用し、理科のヒマワリ栽培をすることができた。教科間で学びのつながりができた。また、観察・予想では、グループ学習を通して友達の考えに興味を持ち、自分の考えを伝える姿が見られた。継続して観察することで「前と違う」「次はこうなるのでは？」と気づきから予想へつながった。

🌍 関連する SDGs（あてはまるものに○）

① 貧困 ② 飢餓 ③ 健康 ④ 教育 ⑤ ジェンダー ⑥ 水 ⑦ エネルギー ⑧ 働きがい ⑨ 産業 ⑩ 不平等

⑪ まちづくり ⑫ つくる責任つかう責任 ⑬ 気候変動 ⑭ 海 ⑮ 陸 ⑯ 平和 ⑰ パートナリーシップ